

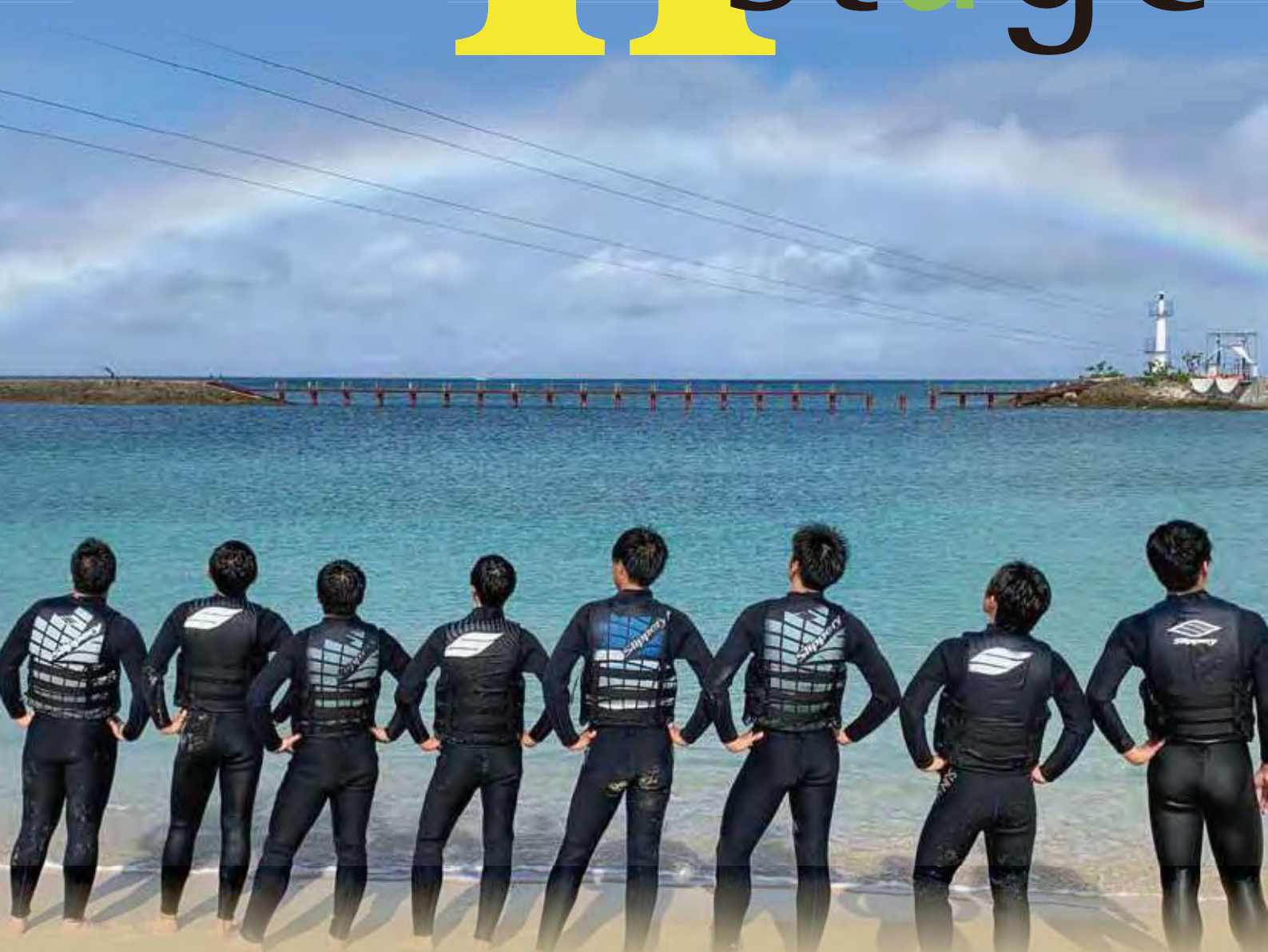
vol.56

2019.2 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

n-stage



「キャリアビジョン形成支援事業」

西高では県の「キャリアビジョン形成支援事業」の支援を受け、様々な形で将来のキャリアビジョンを高めるプログラムを行っています。

1年次 キャリアガイダンス(職業編)

毎年1年次生では、進路&職業選択の幅を広げるためのガイダンスを行っています。10月には本校卒業生5名をお招きし、「社会を担う自立した社会人」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。



保健師(県庁健康増進課)
阿佐美 優輔さん H21年3月卒業
高校でしかできないことを広く頑張れ!



公務員(富士東部建設事務所)
舟久保 亮太さん H26年3月卒業
いろいろなことにチャレンジして、視野を広げて!



小学校教諭
古屋 愉子さん H23年3月卒業
西高でやったことは必ず将来の宝になる!



会社員(旅行関係)
武藤 かおりさん H21年3月卒業
いろいろな選択肢を見つける。西高には一生懸命できる環境と自由がある。



団体職員(山梨県農業共済)
伴野 史明さん H25年3月卒業
漠然としてても大きな夢を持つことが大事!



全体の様子

5人の先輩はそれぞれ違う職業だが、高校生の時に力を入れて学校生活を送っていたことは全員同じだった。自分も同じようにしていきたいと思った。また仕事のイメージにはギャップも多いと聞き、「やってみないとわからない」からチャレンジしていくことが大切なのだと思います。

1年 福島 龍(竜王中)

実際の社会人の方から話を聞く機会を得て、将来について考える良いきっかけとなった。それぞれの職業の良さやまた意外であったことなどを聞き、自分が今やりたい職業は何かということ考えた。1年生の今しかできないこと積極的に挑戦していこうと思った。

1年 饗場みのり(山梨大附属中)

高校の時から将来について具体的にイメージしていた方もいればそうでない方もいて、とても参考になる講話だった。自分が思っていなかった職業に就いても、そこにやりがいを見つけ頑張ることが大切なのだと改めて思った。

1年 田中なな(押原中)

1年次 キャリアガイダンス(進学編)

10月の職業編に続き12月には進学編として、国際関係学、経済経営学、教育学、工学、理学、薬学、医学、看護学等から計14講座を設け、それぞれの専門の大学の先生方から講義を受けました。



人文学(国語系)に参加して

以前からフジファブリックの「若者のすべて」は知っていたが、今回の講義でこの曲の見解が変わった。そして私の人生観が変わった。フジファブリックのボーカルの志村さんの曲は聴くだけでも素晴らしいが、複雑に考えられた歌詞の意味を考える事で曲としての輝きが放たれると思う。詞(言語)にはそれぞれの解釈があり、それだけ思いを込めることができるのだ。歌詞にここまで意味を込めることができる志村さんは本当に深い思考を持っている。自分自身の考えを持って彼の曲を聞くことで、言語や言葉を通わせることの大切さに気づかされることは間違いない。人に思いを伝えることができる大切な言語だからこそ、様々な思考のもとでこれからも使っていきたい。

1年 伊藤真心(山梨大附属中)

教育学(教員養成系)に参加して

教師の仕事は生徒が「できる」ようにするのではなく「わかる」ように発問を出すことなのだとわかった。今回の講義で小学校の国語教材や算数の問題文を多様な角度から考えることで、私も少し「わかる」ようになって良かった。私は今まで問題集などの解説も鵜呑みにしてきたが、それではダメで疑うことが大切だと改めてわかった。今後は「できる」ようになるだけでなく「わかる」ようになるため「どうして?」の疑問を身の回りの生活の中からも探していきたいと思う。今回の講義で生徒を「わかる」ようにする難しさと教師という仕事の面白さも感じた。

1年 榎津美聡(若草中)

土曜講座 特別編 ～西高ゼミナール～

土曜日の午前中に年に10回程行われている土曜講座では、多くの教科で学力を伸ばすための講義や演習が行われています。12月15日(土)はその特別編として、校長先生を始めとする11人の西高の先生方が「学問の面白さ」をテーマに、教科書の枠を飛び出した、「探究的で深い学びの楽しさ」を紹介してくれました。



そば打ち教室

本格的な手打ち「二八そば」にチャレンジするだけでなく、日本そばを通した経済学も学びました。



映像の文法

映画「君の名は。」や「ロッキー」などの作品から、映像での表現技法(テクニック)について考えました。



次元のはなし

次元をテーマにした物理の講座。1年生には難しい数列なども先輩と一緒に難解に挑みました。



星形多面体の世界

校長先生によるいろいろな多面体の講義。模型作成を通して数学の奥深さと楽しさを感じました。



頭骨からみるほ乳類の進化

講師自ら制作した「頭骨標本コレクション」十数点から、私達ほ乳類の進化の過程を知りました。



落語

多召亭楽天(ためしていがってん)師匠による本格的なオリジナル「落語」で大笑い。着物も自前です。

「先端研究・技術体験プログラム～筑波学園都市の研究施設の見学研修～」

1, 2年生の希望者41名で日本マイクロソフト品川本社と竹中工務店東京本社に研修に行ってきました。

「日本マイクロソフト株式会社 品川本社」

windowsに代表されるIT企業のトップである「マイクロソフト」の東京本社を見学しました。グローバル IT企業で働くことの意義や、ICTを活用し多様なスタイルで働くためのスキルを紹介していただき、これからの「働き方」に必要な「自己を表現し考える力」を高めることが大切であると学びました。本校ではマイクロソフト社との協力でタブレット端末40台とWIFI環境を整備し、ICTを活用した授業実践に12月から取り組んでいます。

「株式会社 竹中工務店 東京本社」

国内最大手の総合建設会社である「竹中工務店」東京本社を見学しました。今回お世話になった竹中工務店グループICT推進室の室長である岩下敬三様は西高手島校長先生と同級生ということから今回の見学が実現しました。建設業界や企業に関する説明を受けた後、働き方改革に対応しリニューアルした東京本店社屋内の見学と敷地隣接した大地震にも安全安心な免震建物(スカパー本社)の見学させていただきました。



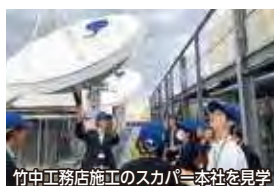
マイクロソフト社での講義



先端研究



西高の大先輩である竹中工務店の岩下グループICT推進室長



竹中工務店施工のスカパー本社を見学



実際の免震体振技術の見学

私が今回の経験を通して強く印象に残ったことは、世の中には様々な働き方があり、今後の社会ではITを駆使する力が必要になるということです。働き方改革を進めているマイクロソフト社では個人の固定のデスクがなかったり、紙をほとんど使っていなかったりなど、今までの自分の中の常識が覆されるような取り組みが多くありました。今後も働き方が変わっていくことを考えると、自分が将来社会に出る頃の働き方は今とは全く違ったものになっていると思います。多様な働き方の社会に対応していくためにも、「仕事とはこういうものだ」という固定観念にとらわれず、柔軟に対応する能力を育てていくことが重要だと思いました。また、今回のプログラムの中で、「コンピュータを駆使して」という言葉を多く聞きました。将来の人口減少に備え、仕事における機械の導入はますます増えるので、今のうちからICT機器について学ぶことが必要だと感じました。今回のプログラムは、働き方について考える良い機会となりました。自分の将来のために人間的な能力を育みつつ、基盤となる普段の学習に力を入れていきたいと思っています。

マイクロソフト社では、最先端技術を間近で体感することができ貴重な経験となりました。技術だけではなく、それを生み出す社内環境も、労働効率の向上や社員の負担の軽減の為に工夫が細部まで施されていて驚きました。特に印象的だったのは「いつでも、どこでも、誰でも」という働き方です。社内のみならず自宅でも外出先でも仕事ができるというのは残業の削減にも繋がると知り、もっと多くの職場に普及して欲しいと思いました。また、6つの「C」が付く能力※が必要になると学び、学校の勉強以外の事を学べる機会も大切にしたいと思いました。次に訪れた竹中工務店で聞いた「コンクリートよりも純粋な木材の方が持つ」という話は、現代文の授業で学習した評論に同じような内容があったので、今回実際にその技術的な内容を聞くことができ、より理解が深まりました。どちらも自分の将来を考える上で参考になる事ばかりでした。私は文系ですが、今日見学したような理系が主となる仕事にも関わられる要素があることが分かり良かったです。

※「COMMUNICATION」(議論しあう力)、「COLLABORATION」(協働しあう力)、「CURIOSITY」(好奇心)、「COMPUTATIONAL THINKING」(計算論的思考)、「CREATIVITY」(創造性)、「CRITICAL THINKING」(疑問を逃さない思考性)

1年加賀爪あみさんが「宮中歌会始の儀」の入選者に選ばれました。



私は彼の
一つのしづき
光の海に
飛び込んで
ペンライトの

加賀爪あみさんに聞きました。

① 今回の作品(短歌)について聞かせてください。
内容や書いた時のイメージなど。

今回の短歌は、昨年の夏に映画館で見たライブビューイングの景色がイメージです。遠くの会場でも、自分がある映画館の小さな部屋でも、一面の海のような景色をそれぞれのペンライトの光が作りだしていて、とても感動したので詠みました。

② 作品を作る時に意識していることや大切にしていることなどを教えてください。

短歌、小説に共通することですが、思いついた言葉や風景をメモしています。いつか使いたいと思っている表現がメモ帳にはいくつもたまっています。短歌については何度も推敲するように心掛けています。今回の作品も、手帳に何度も何度もかいて少しずつ直していききました。

③ 皇居での「歌会始の儀」に出席(参加)しましたが感想を聞かせてください。

多の選者の方や宮内庁の方が、優しく穏やかに接して下さったので、あまり緊張せず楽しむことができました。平成最後の歌会始で私のこの歌が選ばれたということで、多くの反響がありましたが、短歌に触れるきっかけとなっただけなら、とても嬉しいです。

④ 将来の夢は何ですか？

(文学とどのように関わっていききたいですか？)

本を作ったり、売ったりするなど、本に関わる職業に就きたいです。そういう仕事ができなくても、本を読むことはやめず、これからも続けていきたいと思っています。

第39回 山梨県高等学校 芸術文化祭

11月高校文化部の祭典「芸術文化祭」が今年も開催されました。西高から16部門に364名(延べ数)の生徒が参加し、放送のビデオメッセージ部門で芸術文化祭賞(第1位)と文芸・新聞の3部門で来年度の全国大会への切符を手に入れました。

- 合唱部門 優秀賞 音楽部
- 吹奏楽部門 優秀賞 吹奏楽部
- 日本音楽部門 奨励賞 箏曲部
- 美術工芸部門 優秀賞2年 若月久恵(春日居中)
奨励賞2年 保坂文香(櫛形中)
- 書道部門 優秀賞2年 望月京佳(双葉中)
- 放送部門 オーディオピクチャー部門 奨励賞
ビデオメッセージ部門 **芸術文化祭賞**
※H31年度全国高総文祭佐賀大会出場
- 文学部門 短歌の部 優秀賞 2年 山岸彩香(山梨大附属中)
2年 齊木悠飛(山梨大附属中)
俳句の部 優秀賞 2年 雨宮知己(敷島中)
※H31年度全国高総文祭佐賀大会出場
2年 小澤ゆか(御坂中)
2年 高橋佳奈(富竹中)

○新聞部門 優秀賞

※H31年度全国高総文祭佐賀大会出場



芸術文化祭を受賞した放送部

ビブリオバトルで全国大会へ

1月20日に東京大手町で開催されたお披露の1冊の魅力をアピールする「全国高等学校ビブリオバトル決勝大会」に出場しました。森で遭難したら女性にどう接すればよいのかなどユーモラスなスピーチを行い、校内大会や県内大会のみならず全国大会でも聴衆の心をつかみ、全国ベスト7に入ることができました。

読書には色々な楽しみ方があるのだとわかりました。ぜひ、多くの人に本を好きになってもらいたいです。

※紹介した本 「鈍感力」 渡辺淳一

1年 野球部 古屋慎人(甲府北中)



大会に出場した松原尚志くん(八田中)と優勝した古屋くん



全国大会での様子

沖 縄 修 学 旅 行

— 平和・文化・美しい自然を満喫した4日間 —

2年次生は12月10日から3泊4日で沖縄本島への修学旅行に行ってきました。

1 日目

羽田空港
↓
那覇空港
↓
沖縄美ら海
水族館見学
↓
〔恩納村泊〕



2 日目

班別タクシー研修
マリン体験
↓
〔恩納村泊〕



3 日目

平和学習
↓
クラス別行動
(各地)
↓
国際通り
↓
〔那覇市泊〕



4 日目

首里城見学
↓
那覇空港
↓
羽田空港
↓
山梨へ帰郷



沖縄への修学旅行を振り返って

平成最後の素晴らしい修学旅行の修学旅行実行委員長という大役を果たすことができました。最高の仲間たちと最高の思い出を作ることができ嬉しかったです。また、沖縄の風土豊かな暮らしは普段の学校生活では決して経験することのできないもので、有意義な時間を過ごせました。私たちに素敵な体験をさせてくださった先生方や保護者の方、旅行会社の添乗員さん、本当にありがとうございました。

修学旅行委員会 委員長 2年 岩間楓季(一宮中)





校長 手島 俊樹

「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」

新しい年がスタートしました。今年の干支は猪ですが、猪といえば「猪突猛進」、皆さんが新しいことに勇猛果敢に挑戦し、自分の進むべき道を着実に前進する、そんな一年になりますことを心から祈りたいと思っております。

ところで、挑戦といえば、ある女性の世界初となる挑戦を載せたロケットが打ち上げられました。その挑戦とは、宇宙空間で人工的に流れ星をつくり出そうというもの。女性の名は、岡島礼奈さんと言いますが、ニュース等でそのプロジェクトを知っている人も多いのではないのでしょうか。岡島さんが人工流れ星という夢をもつきっかけとなったのは、2001年に『しし座流星群』を観たことだそうです。その後、ベンチャー企業を立ち上げ、十数年がかりで人工流れ星の実現という挑戦の道を歩んできました。ロマンチックな夢の実現に向けて努力を重ね、その第一歩を踏み出した岡島さんの挑戦は、私たちに夢や希望を届けてくれたように感じますが、皆さんはいかがで

しょうか。

実は、このプロジェクト。天文マニアからは、多少の批判もあるようです。例えば、「流れ星は自然現象だから美しく、価値がある」「塵をばらまいて環境汚染にならないか」などの声です。確かに、人工流れ星をどう感じるかは人それぞれでしょうし、環境や安全性には心配もあります。しかし、こうした課題は新しい挑戦にはつきもので、挑戦が進むにつれ、こうした課題も解決されていくのではないのでしょうか。2020年の春には広島などの瀬戸内地域で人工流れ星がお披露目されるようですが、その推移を見守りたいと考えています。

さて、受験の時期になりました。本校の3年生も自分の進路に向かってラストスパートに入っていますが、中学3年生の皆さんもプレッシャーに打ち克って、目標とする高校への入学を実現して欲しいと願っています。受験勉強は大変だろうと思いますが、最後は自分が自身の選択にどれだけ信念をもっているか、ということが問われるような気がします。岡島さんも自分の挑戦に信念をもっていたからこそ、実現への一歩が踏み出せたのではないのでしょうか。自分を信じて突き進めば道は拓かれます。がんばれ受験生！

音楽発表会 12月25日

今年で14回目の開催となる音楽発表会。1年次の音楽選択者や音楽系大学を志望している2年生の発表を行う西高独自の行事です。吹奏楽部・音楽部・箏曲部といった音楽系の部による演奏、三味線の独奏が披露されました。



大学入試センター試験 1月19.20日

大学入試本番!!

西高3年生がこれまで積み重ねた努力を発揮すべく、大学入試センター試験に挑みました。試験会場入口では担任の先生からの激励を受けました。緊張感もありましたが「チーム西高」のもと全員で全力を出し切りました。進路実現への最終ステージへ突入です。



information

68th 鳳凰祭

2019年6月29日(土) 一般公開 9:30~14:00
会場 甲府西高等学校

西高最大のイベントです。ぜひ楽しんでください。



学校説明会

2019年7月21日(日) 13:00~
会場 山梨県民文化ホール

入試情報や進路状況、西高ライフを紹介します。



オープンスクール

2019年9月7日(土)(予定) 9:00~12:10
会場 甲府西高等学校

体験授業や在校生との懇談会、部活動見学など西高のリアルを体験してください。



Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2019.2 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/

[[立っている場所]が原義] — ㊦ (㊤) ~s/-ɪz / ㊦

- 1 舞台、ステージ (◆世界の象徴)
- 2 [活動の]舞台、場所 [for, of]
- 3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)
2 N-stage 西高生の活動舞台